

平成24年度第3回指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 青森市戸山市民センター
- 2 開催日時 平成24年10月15日(月) 13:00~13:35
- 3 開催場所 青森市役所第3庁舎1階会議室
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 工藤 清泰(市長公室理事)
副委員長 鈴木 裕司(総務部次長)
委員 増田 一(企画財政部次長)
委員 相馬 政人(市民生活部次長)
委員 池田 享誉(青森公立大学准教授)
委員 鈴木 彰夫(東北税理士会青森支部)
 - (2) 施設所管課(事務局) 中央市民センター 館長 今 牧彦
主幹 白取 範泰
 - (3) 制度所管課 市民政策課 参事 相馬 紳一郎
主幹 福島 清裕
主事 田中 浩司
- 5 欠席者 成田 一二三 委員(教育委員会事務局次長)
- 6 議題 指定管理者候補者選定に係る審査
- 7 会議概要

最初に委員長より、公正・公平性の確保のために、施設所管課の担当次長は採点の審議には参加せず、事務局として参加していただく旨の意見が出され、委員から異議無く了承された。

(1) 応募資格

事務局より、応募団体が応募資格の要件を満たしていることを確認し、その内容を報告した。

(質疑なし)

(2) 選定基準による審査

【収支計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【管理運営方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【地域や関係団体との連携】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【地元雇用への配慮】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
委員：業務員のうち地元出身者はどの程度か。
事務局：6名中4名が地区内出身で、残る2人も隣接町会の出身である。

【職員等の配置計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【職員等の研修計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【施設管理計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
委員：これまでの管理の中で何か問題は生じたか。
事務局：特に問題は発生していない。

【防犯、防災、緊急時の対応】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【個人情報保護】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
委員：持ち出しできる記録媒体はあまり好ましくないという流れになってきているが、何か指導しているのか。
事務局：なるべく持ち出し出来る記録媒体は使用しないよう指導している。

【環境保全、負荷低減】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【市民の平等な利用を確保するための方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【利用者等の要望等の把握と反映方法】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：アンケートは定期的に行われているのか。

事務局：講座の最終回にアンケートを行っており、通常時も意見箱を置いて要望等の把握を行っている。

【サービス向上の対策】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：今まで苦情等は来ているか。

事務局：今のところ苦情等は届いていない。

【自主事業の実施計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。

委員：青森市戸山市民センターの役割を踏まえとあるが、青森市戸山市民センターの役割とは何を指すのか。

事務局：地域の方々に密着した対話型の市民センターというものを意識して、このような表現になったものと推察する。

委員：具体的に戸山市民センターだけでやっている事業はあるのか。

事務局：この地域は団地に住む新興の方が多いので、都市型の親子の活動であるとか、市民センターまつり等で旧来の戸山地区の住民との交流を図るなどの個性はある。

委員：事業計画書にある事業で新たなものはあるか。

事務局：受講者の要望が高い講座を実施しているので、あまり大きな変化はないが、色々とバリエーションある講座を開講している。

委員：事業は広報誌に載るのか、それともセンターに行ったら知るのか。

事務局：センターに掲示しているほか、広報あおもりや市のホームページにも掲載している。

委員：教育委員会としては、生涯学習という言葉は今抹消しようとしている最中であって、この団体はそのようなムーブメントを理解していないと考えるべきか。それとも、そのような情報が行っていないので、生涯学習であっても社会教育ではないと考えているのか。

事務局：教育基本法が60年ぶりに改定されて、新たに生涯学習という情報が付け加えられ、生涯学習の支援を進めると同時に社会教育活動をきちんとしていきましょうとのことなのですが、流行している言葉なので、そのような表現になったものと思われる。ただし、その中には社会教育活動をきちんとすることを含んでいると思っている。

【同種の施設管理業務の実績】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

(3) 審査結果

委員長：採点を集計した結果、青森市戸山市民センター管理運営協議会の得点は94.47点となり、最低得点75点を上回っているため、青森市戸山市民センター管理運営協議会を指定管理者候補者として選定してよろしいか。

委員：(全員、異議なし)

委員長：それでは、青森市戸山市民センター管理運営協議会を青森市戸山市民センターの指定管理者候補者として選定する。